

「研究テーマの価値評価について」

次代産業の成長を牽引する画期的技術の開発を目指し、先端的研究テーマへの研究開発投資を行なう場合、将来の利益を生み出すまでのプロセスは不確定性に満ちており、研究テーマの「筋の良さ」を事前に評価することは極めて難しい。今日まで、研究開発の現場では、いわゆる「目利き」の意見が投資の是非を実質的に決定してきた。しかし、根拠の薄い一意見のみによる大規模投資は一種の投機的行為であり、第三者からの投資を引き出すに至らず、失敗に終わる場合も多い。

近年、撤退・中断・拡大などの意志決定の柔軟性を価値あるものと捉え、その実物資産投資を評価するリアルオプション法が、不確実性下の投資意思決定の技法のひとつとして注目されている。この考え方を先端的研究への投資に適応した場合、その評価にどんな影響を与えるのかを試行した事例を紹介し、リアルオプション法の可能性と限界を展望する。